



# 支援センター部特集 ～この街と暮らす～

## 四十歳の記念旅行

人生を豊かにたくましく

去年の十月初旬、ホームの仲間三人が四十歳を迎えた記念に三泊四日の旅行に行ってきました。今回のメンバーが旅行地に選んだのは秋の高原を楽しみたいと考え長野県の白馬・梅池高原です。名古屋駅では母たちの見送りを受けて元気に出発。特急しなのにゆられ、無事に白馬高原に到着しました。

まずはお世話になるホテルの前で記念撮影。お風呂で旅のつかれを流し、夕食のバイキング料理では好きなものを選んでたくさん食べました。

二日目の朝、朝食前にホテルの近くを散歩。川沿いの道、あぜ道を歩きました。二日目のメインイベントは露天風呂。露天風呂に入る前は体が縮まりましたが、湯船に入るととても気持ちよかったです。スッキリした後で温泉うどんを食べ、土産屋さんに寄って買い物。みんなでおそろいのTシャツを購入しました。

三日目のイベントは梅池高原です。ゴンドラとロープウェイを乗り継いで山登りをしました。窓からは、浅間山とアルプスも見えます。到着するとそこは梅池自然園。心地よい風が気持ちよく、休むことなく登りました。名古屋で待っている家族や仲間へのお土産を買って、最終日は朝風呂を浴びてから出発。帰りも長い移動だったので電車で揺られウトウトしながら帰路につきました。

旅行中に「四十歳のつどい」を開きました。持参したアルバムを通して仲間が母たちといっしょに過ごしてきた四十年間のことについて話し合い、家族や応援してくれる仲間たちが贈ってくれたメッセージを読みまし



旅行中に「四十歳のつどい」を開きました。持参したアルバムを通して仲間が母たちといっしょに過ごしてきた四十年間のことについて話し合い、家族や応援してくれる仲間たちが贈ってくれたメッセージを読みまし

た。そして将来について語り合いました。これからは四季の暮らしを通して自分自身が、四十五歳、五十歳に向かって力を貯え、その力でその後の人生をたくましく送りたい。そんな願いを抱いた旅行でした。

(ホーム社会館 福田 佑太)

「わたしのゆめ」 海老原真二

三十歳からの十年でいろいろな行事に参加して楽しい時間を過ごしてきました。

最近体調の変化もあり、仕事や遊びがなかなか思うように出来にくくなってしまいました。それでもアクティブに過ごせるように活動したいです。

日中活動の「ねーぶる」の缶の活動では、もつと力強くハンマーを工夫して叩いてみたい。休日の外出のプールでは、水かけばかりでなく潜ったり、泳いだりと楽しみながら風邪に負けない体づくりをして過ごしたい。のどかの生活ではペットのハムスターとふれあったり、部屋の模様替えもしてみたい。環境を変えるために、買い物や木工などやってみて生活を豊かにしていきたい。普段、「あかん」とよく言っています。普段、「はい」とか、やりたいとか、自分から伝えられるようになりたい。たくさん言葉を使えませんが、少しずつ自分の言葉を出してもっとみんなに伝えられるようになりたい。

四十歳の記念旅行も幼馴染のじゅりさんやみりさんと楽しく、のんびりと旅行することができうれしかったです。もつと気軽に旅行や行きたい場所に行けるようになる。いいなあと思いませんか。



旅行中に「四十歳のつどい」を開きました。持参したアルバムを通して仲間が母たちといっしょに過ごしてきた四十年間のことについて話し合い、家族や応援してくれる仲間たちが贈ってくれたメッセージを読みまし

## 地域の方と共に働く

活動センター「ねーぶる」は、地域の方のご厚意で貸していただいた東浦町にある畑で活動しています。畑では、お日さまをいっぱいあびて、風に吹かれたりと、暑さ寒さ心地よさをみんなで感じています。畑はとつても広く、土も柔らかいです。メンバーは体いっぱい使って活動しています。味見つきの収穫もとても楽しいです。

地主の鈴木さんは、ふらりと私たちの活動をのぞきにきてくださり、メンバーも鈴木さんのことが大好きです。

Q. メンバーとの出会いの印象は？

A. 畑でメンバー、スタッフと一緒に相撲をとっていた。面白い。そうなることをやっているのを見ていたら対戦が進み、最後に「頂上決戦だ！」となって「最終戦は鈴木さんとだ！」となつて相撲をとることになった。びっくりした。そのことが印象に残っている。

Q. メンバーの畑活動について。メンバーと関わったことで変わったことは？

A. メンバー自身は畑というより、畑の中で身体を動かすことが大事。その中でがんばっていると思う。メンバーはこ

## この場所は私の心が歌いだす

グループホームで暮らすAさんは週に一度ヘルパーさんと一緒にコマダ珈琲へ行くのが楽しみです。

コマダ珈琲の玄関をあけて右手の食器棚がある席がAさんのお気に入りです。その食器棚には、装飾皿やお花が飾ってありAさんはそれを眺めるのが好きです。それにコーヒーを少しずつ飲みながら雑誌をパラパラとしていると店員さんや常連さんたちも寄ってきてくれます。Aさんは、はにかみながら顔をぐつと上げてとても嬉しそうです。そんな夕方のひと時をとても楽しみにしています。

コマダ珈琲柴田店は創業して約二十五年間続いているお店で、柴田学区の憩いの場でもあります。地域の中学生の職場体験の場だったり、高齢者や障害を持つ人にも気軽に立ち寄れます。Aさん以外の仲間もよく利用しますが、店長さんが「Aちゃんのおともだち？」と声をかけられ歓迎されます。

Q. Aさんはいつもどう感じて過ごしていますか？

A. Aちゃんは、本が好きですね。本のページをめくるのが好

ちらが手を出すとスッと手を伸ばしたり、言っていることを聞いていると思う。自分の父が病気になるって動けない時期が一年位あった。それに、小学校の頃から車椅子に乗っている同級生と一緒に勉強していた記憶がある。障がいを持つってメンバーだからと思つて関わってはいない。嫌だったら来ない。いつも何してるかなと思つてのぞいている。

Q. メンバーにひと言

A. 自分自身がどうしようというのではなく、メンバー自身ががんばっている。だからちよつと手伝おうと思う。みんなががんばつて活動していると思う。

「別に話すことないわ」と言いながらも、メンバーへの思いや鈴木さん自身の思いを語ってくれました。鈴木さん、ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。

(活動センター「ねーぶる」 増田 美和)

鈴木さんの紹介

有限会社鈴木製作所の創業者。今は息子さんに役職を譲られ、仕事を手伝いながら趣味で畑仕事もしています。趣味はマラソン。



きみたいですよ。食器棚があるこの席が好きだから飾ってある食器とかお花をよく見えていますよ。ご機嫌だと鼻歌まで出てきます。

Q. 見ていてどう思いますか？

A. 前の店長や常連客にとっても愛されていますね。特別にお菓子をたくさんもらつたり、誕生日にはお祝いされていますよ。

Q. Aさんにひとこと

A. 温かくなつたら、歩いて来られるようになるといいですね。このお店は、Aさんが十五年通つている場所で、Aさんが訪れないと寂しがらる店員さんや常連さんが居るほどです。こんな場所が地域にもつと増えるといいなと願っています。その橋渡しがヘルパーの役割だと感じました。

(支援センター「ねーぶる」 今泉 英之)

お店紹介

コマダ珈琲店  
住所 千四七〇八一五  
愛知県名古屋南区柴田町  
六一十九  
柴田駅より徒歩五分



# 二〇一七年度 法人全体基本方針

三月二十三日、評議員・理事会が開催され、法人及び各事業所基本方針が確認されました。

昨年三月末に、社会福祉法の改正により社会福祉法人改革の準備を経て、具体的な社会福祉法人のほたらきが問われる年を迎えます。

社会福祉法改正の柱の一つ目は「経営組織のガバナンスの強化」です。事業を執行する理事長・理事会を牽制するために、評議員会の位置づけが改正され諮問機関から決議、承認を行う機関へ変更となります。

二つ目は財務規律の強化と透明性を明確にすることが求められています。

三つ目は、地域における公益的などりくみを実施する責務です。

名古屋キリスト教社会館は、憲法二十五条に基づく生存権保障に根差した公的責任を具体的に実現する、人権保障の担い手であることに存在意義をもち、事業展開をすすめます。

一、すべての人々に平等に人権が保障され、「平和」を創り出す社会福祉事業をめざします。

・「社会館の使命」を見つめて、仕事づくりと仕事の評価をすすめます。

・憲法九条・憲法二十五条の重要性を学び、伝えあいます。

・「公的福祉」の重要性、平等に人権が保障される大事さを市民に伝え、行政に求めて運動をすすめます。

二、障害の重い人たちが地域で安心して暮らす「西館二号館」の建設を、二〇一九年四月竣工をめざしてすすめます。

・この建設計画の意義を職員・関係者・地域の共感が得られるようアピールします。

・この建設資金の確保に努力します。

・障害を持つ子どもに対する「差別」であること、「地域療育センター」に対する評価の問題であることを行政関係者・福祉関係者に広げます。

・赤字の解消を含む改善案を作成し、名古屋市のとの協議を有効的なものとしめます。

・保護者の率直な思いを受け止めて、共に考え合い、良い療育システムづくりに参加します。

四、新理事会・新評議員会体制と新しい運営体制を力にして、法人の経営運営強化をすすめます。

・新理事会・新評議員会体制を力に、福祉情勢に抗する法人経営が担えるように、組織機構を改善し、責任者の役割及びチームワークの向上を図ります。

・組織の役割と責任を明確にし、合意形成を大事にした組織運営をすすめます。

・理事・評議員・監事・専門分野に長けた人材の協力を得て、組織強化・広報強化を図ります。

・「社会福祉」で働く喜び・面白さを生かして、ボランティアを含む人材確保対策をすすめます。

五、すべての職員の参加と協同、学びあい育ちあう運営づくりを視点において、労働環境の改善をすすめます。

・新規採用から五年目までの法人職員研修計画案を作成し、職員養成をすすめます。

・リーダー、管理職養成をすすめます。

・各職場の労働環境・管理運営の課題を捉え、職場改善をすすめます。

・産業医との連携をすすめます。

六、地域の貧困化の実態を捉えて、社会館が地域と共に担うべき新たな事業方向を検討します。

・地域との協働ですすめている働きや地域福祉の実践をまとめます。

・各事業所において、貧困の実態を捉え整理します。

・地域の人々の「生き甲斐」につながる取り組みを、地域の人々と共に創りあいます。

七、名古屋キリスト教社会館の創立の精神を継承し、社会福祉法人の将来を展望します。

・二〇二〇年には、法人六十周年を迎えることも鑑み、下記の部門の「将来計画検討委員会」を発足させます。

（発達センターあつた・発達センターちよだの老朽改築含む将来計画）

（みどり菜の花・みどりそよ風の将来計画）

・キリスト教社会福祉・関係団体とつながり、共に学びあいます。

・各事業所における関係団体とつながり、社会福祉の学びと運動の発展のために協働します。

八、世界の人々との交流を通して、人間の豊かさを学び、福祉社会のために働きます。

九、六年を経過した「東日本大震災」「原発事故」から生じている問題を理解し、引き続き、関係者と共同して被災者支援を担います。

（理事長 湧井 規子）



聖書

「愛は忍耐強い、情け深い、ねたまない。自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてをしのび、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える」

コリントの

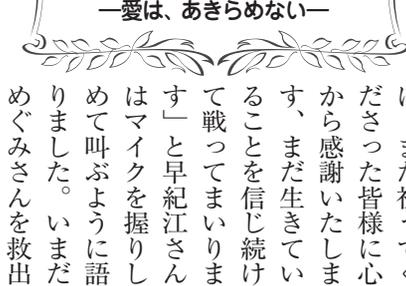
信徒への手紙Ⅰ

十三章十三節

愛という言葉が繰り返して使われているこのコリントの信徒への手紙十三章は、愛の賛歌と呼ばれています。たとえ、どんなに立派な信仰を持っていても愛がなければ無に等しいといえます。残念ながら私たちの愛の中には打算や思惑があります。ここで語られている愛は私たち人間の愛とは全く異なった真実の愛の姿です。全くの打算も思惑もない、心から相手を生かし相手に自分を差し出していく愛です。ここに神の愛が現されています。

## 「私たちへのエール」

—愛は、あきらめない—



できないでいる過酷な状況は続いています。真実の愛を知った早紀江さんは「神が私をあきらめず愛してくださっています。だから、私はあきらめないでいられます」と戦い続けています。

平和と、人に優しい社会を祈り求める私たちも、早紀江さんの戦いに教えられて、決してあきらめない働きを続けたいと思います。「私たちは、あきらめない!!」

（チャプレン

杉本美由紀）

本人が連れ去られた拉致事件と明らかになり、その行方を探し続けた両親、横田夫妻がその消息を知ったのはなんと二十年後の一九九七年でした。突然娘を失い、途方に暮れて探し回る日々、母親の早紀江さんは絶望の中で聖書に出会いました。二〇〇二年九月十七日、北朝鮮から拉致被害者八名が死亡、四名は入国していないと伝えられた日朝首脳会談後の記者会見で、「めぐみのことを見てくださった皆様を愛してください。また祈ってください。皆様から感謝いたします。まだ生きています。まだ生きています」と早紀江さんはマイクを握りしめて叫ぶように語りました。いまだめぐみさんを救出できないでいる過酷な状況は続いています。真実の愛を知った早紀江さんは「神が私をあきらめず愛してくださっています。だから、私はあきらめないでいられます」と戦い続けています。

# 報 告

## ◆社会館の国際交流

1月23日から1週間、8月に引き続きソウル女子大学の4名の実習生を受け入れました。この実習は、日本語を学ぶ学生さんたちが日本で地域貢献的な活動に参加することを通して、日本語力の向上と日本の文化理解を深め、日韓の良好な関係構築につなげたいとの願いを持ってとりまかれています。菜の花保育園やデイサービス友、そよ風などで1日ずつ実習。最終日のぼけっとでは「日本の子どもたちはちびまる子ちゃんが好きと聞いた」と、踊るポンポコリンに合わせ踊りを披露してくれました。思わず前に出て一緒に踊る子もいました。「デイサービスで自分のおばあちゃんを思い出して嬉しかった。」などの感想から温かい思いが感じられました。



また、年末年始は社会館と交流の深い、ケニアのマゴンスクール出身ドリスさん、アグネスさん（現在立正大学に留学中）のお二人を名古屋に迎え、スキーや初詣などを楽しみました。社会館ではこれからも、「であい・ふれあい・そだちあい」を大切に、国際交流の機会を作りたいと思います。（東部地域療育センターぼけっと 福武 馨）

## ◆愛育園50年 そよ風20年のつどい

1月14日 愛育園設立から50年、そよ風20年の記念行事を行いました。雪が降る中でしたが、「北欧 幸せのものさし 障害者権利条約のいきる町で」をテーマに、全障研副委員長 藪部英夫氏に記念講演をしていただきました。北欧における障害児者の実際を知ることができ、権利条約を実践している国のレベルの高さを知り、これからの私たちの目指すべきことを考える機会になりました。並行して親子で楽しむプレジャーBの取り組みには80名の親子の参加があり、午後の同窓会には、現役のお母さんたちの参加も含め、80名の参加がありました。愛育園時代からの歴史を、共有でき、力をもらえる取り組みになりました。



（南部地域療育センターそよ風 下妻 幸美）

## ◆第21回全国地域福祉施設研修会

2月17日から18日にかけて、日本福祉大学の東海キャンパスで開催され、北は茨城、南は大阪からの参加者総勢100名のみなさんとともに貴重な学びを共有し、明日の実践の力とすることができました。1日目は、災害と福祉を主たるテーマとしてセツルメントを学び、6つの分科会に分かれて共通の課題を深めました。2日目は、コミュニティカフェと地域福祉という記念講演を受けて、コラボで創る最新の地域福祉実践を深めるものでした。阿部先生の変わらぬ格調高いメッセージに感動し、岸川会長のまとめで 研修の意義を確実なものとなりました。来年は、大阪で開催です。（谷川 修）

## ◆東日本大震災関連行事

3月11日は、4回目となる「東日本大震災犠牲者追悼集会在久屋大通り公園」で、3月18日は、「東日本大震災被災者語り継ぎの集い」がほっと平針で開催されました。いずれも、関係する団体でつくる実行委員会形式で開催されましたが、社会館が事務局を担いました。犠牲者追悼集会はニュースや新聞で記事にもなりました。（谷川 修）

## 西館2号館建設募金 スプリングバザー開催!

4月29日(土) 10時30分～14時30分 雨天決行

場所 名古屋キリスト教社会館  
西館・南部地域療育センターそよ風駐車場  
(名古屋市南区三吉町6-8-26)

美味しいお店や日用品、フリーマーケット、バルーンアートなどの楽しい企画、子どもたちのコーナーもあります!お友達と、ご家族と、ぜひ皆様でご来場ください!フリーマーケットの出店者、また日用品を大募集しています!

問い合わせ 052-611-0707 (活動センターねーぶる:元田)



## 西館2号館建設に向けて元気が出る人形劇 人形劇団むすび座アラビアンナイト公演!



★2017年7月9日(日)  
★13:30開場 14:00開演  
★会場:名古屋市芸術創造センター  
★チケット発売:4月(予定)  
★チケット料金:前売り 2,800円  
ペア券 5,000円  
※3歳未満で席不使用の方は無料

問い合わせ 052-612-3433 (南部地域療育センターそよ風:金武)

## 第57回イースター早天礼拝のご案内

イエス様の復活をお祝いいたします。どうぞお出かけください。

日時 2017年4月16日(日) 午前7時～8時  
場所 日本バプテスト連盟 名古屋キリスト教会(地下鉄 今池下車)

## 今年も開催!

## 「わくわくフェスタ2017」

日時 2017年4月22日(土) 雨天決行  
場所 東部地域療育センターぼけっと  
内容 あそび体験コーナー・模擬店いろいろ

子どもたちに大人気の友大 剛さんによるマジック&コンサートもあります。ご家族みなさんでお出かけください!

問い合わせ 東部地域療育センターぼけっと  
052-782-3388



## AEDの寄贈を受けました

発達センターちよだは一般財団法人 荒川磯慈善様よりAED買い替えのための助成金をいただきました。今回AEDとスタンドを合わせて導入し、施設利用者だけでなく、地域の方に対しても、万が一の時に利用していただけるよう、玄関先に設置させていただきました。今後大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同)

二〇一六年十二月十日  
二〇一七年三月十日まで

### 一般寄付

久保田啓・川口誠・川口京子・高山明子・猪村礼子・高橋アヤ子・木下勝子・寺田仁計・日本キリスト教団刈谷教会・日本基督教団阿倍野教会・瀬戸聖書バプテスト教会・大島和海・愛知県聖ルカ教会・名古屋ロータリークラブ・加藤峯子

### 震災支援指定

蛭川洋子・東部地域療育センターぼけっと分會  
石橋満・堀池育志・丘の上幼稚園・小林直樹・風かおる丘中島忍・加藤好美・山口里子・渋谷文平・加藤淳・伊藤輝人・福武馨・伊藤一・神谷友之・江尻寛・元田和宏・武藤玲子・松永喜久代・土肥悟・佐藤明裕・後藤由紀・石井真理子・加藤加代・恒川修・水谷酒造株式会社・長田圭子・活動センターねーぶる・居宅募金箱・発達センターちよだ・西部地域療育センター親の会・平岩定法・末永和也・青木和彦・鈴木裕子・田部井喜三郎・大島和海・小

### 西館建設指定

日本基督教団金城教会  
活動センターねーぶる指定  
ACCJ/NIS中部ウォーカーン

### ちどり児童会指定

恒川修・ちどり児童会父母会  
そよ風指定  
下妻幸美  
あつた指定  
井坂雅徳

### アット児童会指定

原貴史・鎌井泰・安藤光枝・募金委員会・松野優也・小早川弘江・湧井規子・重度の人達の自立を支援する会さぼりと2吉田りょう子・さぼりさぼり菜の花父母・ホーム家族会山田百合子・社会館バザー実行委員会・菜の花保育園・コミュニティ棟 物資販売・蟹江範子・佐藤太亮・蛭屋淳一・小玉憲治

### クリスマス献金

湧井規子・日本キリスト教団半田教会・小松徹・日本キリスト教団熱田教会めぐみ会・活けるキリスト・小麦教会・土屋淑子・松本勝正・小林直樹・榎本令子・日本キリスト教団名東教会・植木信一・坂倉田紀・日本基督教団東海教会・日本キリスト教団春日井教会・名古屋聖ステパノ教会・名古屋新生教会・須田桂子・日本基督教団豊田教会・学校法人名古屋学院・名古屋柳城短期大学・金城学院幼稚園・広路教会・公益財団法人名古屋YWCA

## 苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、  
本部事務局  
612-3370  
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、  
仲田 伸輝 821-0570  
小林 冴子 611-0401  
湯浅 登 0562-83-4407

## 編集後記

二〇一六年度は運営費補給金問題や社会福祉法人改革等、制度の変更等への対応に追われた一年であった。そして二〇一七年度は法人基本方針にもある様に社会福祉法人改革のもとでの運営が始まる。これまでの法人五十六年半の足取りを大切に、写真の子どもの輝く笑顔があふれ、障害のある方、お年寄り、職員みんなが生きがいややりがいを持ってつどえる社会館であるための歩みを、創立六十年に向けてすすめていこう。(A.S)